

- 10:30 受付開始
- 11:00 関東支部 総会
 - 1. 開会挨拶
 - 2. 支部活動報告
 - 3. 新支部長挨拶 門田道也 52 回生
 - 4. 会計報告
 - 5. 監査報告
 - 6. 学事報告
 - 7. その他
- 12:00 記念講演

英保未来 54 回生 (ペンネーム: 大森望)
テーマ「邂逅——土佐から銀河へ」
- 13:30 懇親会 **美味しい料理と温かい交流**
- 15:30 引継式 (4の会 から 5の会へ)
校歌斉唱
閉会挨拶 (4の会代表)
- 16:00 閉会

① 事前申込決済

下記 URL または QR コードを読み取って申込ページへ

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02dyhdpfpup31.html>

※可能な限り事前決済でお申し込みください
※カード決済 (申込時) 現金決済 (現地払い) に対応



② はがき ※現金決済 (現地払い) のみ



土佐中・高等学校 関東支部 同窓会のご案内

2024. 6.1 sat

日本プレスセンター 10F ホール

参加費

¥ 6,500 ※ 96 ~ 98 回生 : ¥ 1,000 / 99 回生 : 無料!

同窓会関東支部の年会費 (一口 3000 円) も当日受付可能です

会場

日本プレスセンター 10F ホール

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2 丁目 2 - 1

- 千代田線・日比谷線「霞ヶ関」駅 C4 出口 (B1F 直結) …徒歩 2 分
- 丸の内線「霞ヶ関」駅 B2 出口…徒歩 5 分
- 銀座線「虎ノ門」駅 9・10 出口…徒歩 7 分
- 都営三田線「内幸町」駅 A6 (B2F 直結)、A7 出口…徒歩 2 分
- JR「新橋」駅 日比谷口…徒歩 10 分



邂逅

K A I K O U



* お問い合わせ * 090-5521-0399 (関東支部 4 の会 幹事)

※ SMS も可

土佐中・高 同窓会 関東支部 4 の会 〒107-0061 東京都港区北青山 1-2-3 青山ビル
株式会社トゥインズカンパニー内

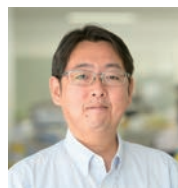
白線でつながる想い



濱田一志 校長



黒田聡 教諭



手島光司 教諭



小笠原豊 教諭



正木宏明 元教諭

邂逅

K A I K O U



「偶然の出会い」「思いがけない巡り会い」
とりわけ「嬉しい出会い」に使われる言葉
英語では「encounter」がもっとも近い意味

懐かしい**再会** と 世代を超えた新しい**出会い**

土佐のシンボル**白線** でつながる **過去** と **現在**

それは**道** となって **未来** へ続いていく

司会

武内有子 64回生

高知放送 タ方ニュースこうち eye 元キャスター
「とさこちラジオ」木曜日パーソナリティ



英保未来 54回生

あぼ みくる

(ペンネーム：大森望)



Netflix でも映像化！

話題の SF 小説『三体』の翻訳を担当

「邂逅——土佐から銀河へ」をテーマに特別講演

1961年 高知市生まれ

1979年 京都大学文学部に入学

1983年 新潮社に入社、新潮文庫編集部勤務

1991年 独立し「大森望」名義で

書評家、翻訳家、アンソロジストとして活動

責任編集の『NOVA』全10巻、

共編の『年刊日本SF傑作選』で、

第34回・第40回日本SF大賞特別賞

劉慈欣『三体』シリーズの翻訳（共訳）で

星雲賞海外長編部門を二度受賞したほか、

中国・華語科幻星雲賞「星橋賞」

および百万釣魚城科幻大賞翻訳部門最優秀漢外訳者賞受賞

著書

『21世紀SF1000』『同 PART2』

『新編 SF 翻訳講座』

『50代からのアイドル入門』など多数

訳書

テッド・チャン『息吹』

オルダス・ハクスリー『すばらしい新世界』

『カート・ヴォネガット全短篇』（監修・共訳）

コニー・ウィリス『航路』など多数

「ゲンロン大森望SF創作講座」主任講師



会場に英保さんのご著書を展示予定！

懇親会企画

大募集！「土佐中・高の思い出・面白エピソード」

学校にまつわる話であれば何でも OK。

厳正な審査のうえ懇親会で発表します。

豪華景品がもらえるかも！？

ぜひお送りください！

審査員長：英保未来（大森望）

宛先：tosasokai2024@gmail.com

※メールには必ずお名前と回生を記載してください

形式：500字程度（発表時に要約する可能性があります）

締切：2024年5月17日（金）

（例）・もう時効!? 今だから言えるゴメンなさい

・君は知っているか? あの伝説の先生を…

・あれは何だったのか…「土佐不思議事件簿」など